

インドネシア17期 中部ジャワサラティガ市 サラティガ第3国立高等学校 SMAN 3 Salatiga 日本語パートナーズ (NP): 梅田昌子

活動を終えて

活動内容

日本語の授業が楽しくなるように心がけました。語学は、話せて書けないと楽しくないので、日本語をたくさん聞きたくたくさん話す時間を作り。またひらがなの学習も進めました。スライドを使い、語彙をイラストや写真で示し、なるべくインドネシア語を使わないようにしました。月に一回の文化紹介（書道、浴衣、巻き寿司、茶道、切り紙）や、授業の終わりの、折り紙、日本の各地の紹介、歌、踊り、体操、ゲーム等、大変喜んでもらえました。



埼玉県PR

自身の住む大宮を中心に授業でスライドを使って町の紹介をしました。(大宮駅周辺の施設、埼玉スタジアム、埼玉のマンホール、大宮公園、鉄道博物館、各地の祭り、アニメの聖地等)また、赴任中にCP先生が日本研修旅行で浦和の研修センターに行ったので、周辺の美味しいお店や、お寺などの穴場も先生が日本に行ってる間も含めて情報を伝えました。秩父の遊び場や、和紙伝統工芸などもスライドや写真で紹介しました。CP先生が、帰国後に生徒に埼玉で体験したことを生徒に報告し、是非行ってみたいという生徒が多くいて嬉しく思いました。

生活面

サラティガは涼しく洪水も無く、小さいインドネシアと言われる小都市で、多くの移民がおり、現地の人が多文化に慣れてしています。必要な物は市内でまかなえ、物価も大都会に比べ安く、大変居心地のいいところです。人と人の距離が近く、毎日たくさんの人と交流でき、積極的に話しかけることで、どんどん親しくなり、たくさんの家族ができたような気分になりました。

細かいことに気にしない国民性で、日本とは習慣が違うこともありますが、常にコミュニケーションをとって、相手の考えを聞き自分の意見を言うことで、より理解が深まりストレスもなくなります。先生方との食事会も楽しく、休みにはカリマンタンやジョクジャカルタ、ディエンなどへ旅行して、インドネシアの大自然や遺跡を満喫しました。

